

危険物新聞

第 517 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会

編集
発行人 松村 光 惟

大阪府西区新町 1 丁目 5-7

四つ橋ビル

TEL (531) 9717-5910

定価 1部 60円



平成 9 年の新春を迎えて

財大阪府危険物安全協会

理事長 鴻野 眞太郎

平成 9 年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます

平素は本会の事業運営につきまして、格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は住専問題等で金融システムが揺らぎ、また、エイズ問題、官僚の綱紀の乱れなど、更に大阪では「O-157」食中毒事件と社会を騒がす事件が相次ぎました。

このような社会情勢や、明るいきざしが見えながらも依然と低迷している経済状況の中で、会員の皆様方におかれましては、日々の安全管理とともに事業の発展に尽力されておられることに対し深く敬意を表するものであります。

さて、本会も皆様方のご協力を得まして、危険物の事故防止を中心に防災に関する公益事業を、推進させていただいておりますが、ここ数年は大きい危険物による事故も減少気味で推移いたしておりましたところ、ご承知のとおり、高石市では、アルキルアルミニウム工場の爆発炎上火災が発生し、また、7月に東京首都高速道路でタンクローリーの横転炎上事故を皮切りに、名神、阪神高速道路等で相次ぎ(8件)発生し、危険な物である危険物の恐ろしさを改めて認識したところでございます。

「災害は忘れた頃にやってくる」と言われておりますが、その真意は「災害は、災害対策を忘れたところに起こる」ということであり、危険物の安全管理は、ハード面、ソフト面ともに常日頃、その対策を忘れてはならないという警鐘として受止めなければと考えております。

昨今、規制緩和という時の流れにのって、社会的規制の見本のような危険物規制の緩和も行われていますが、危険物施設の災害を見るにつけ、経済的な規制緩和と同じような考え方で、社会的な規制緩和が推進されてしまいますと、その結果として市民の安全な生活や、事業の運営は到底保証されないものであります。

危険物の規制は、明治憲法が公布される以前から、石油

取締規則として実施されており、その歴史は、ゆうに100年を越えております。その変遷のあり方、実能を十分に把握した上で、今後の規制緩和はどうあるべきか、ということを慎重に検討すべきではなからうかと思えます。

このようなことから、昨年は、自治省消防庁をはじめ、大阪市消防局、その他関係ご当局、また、業界各位のご協力により、「危険物規制100年の変遷」を発刊した次第でございます。発刊に当りましては、大阪をはじめ全国各消防関係機関の方々にご協力を賜り厚くお礼申し上げますとともに、今後危険物災害防止各般のご参考にしていただきましたなら誠に幸甚に存するものであります。

公益法人であります本協会は、更に危険物取扱者の育成指導並びに保安教育を中心に、自主保安管理の徹底に取り組むと共に時代のニーズに応じた諸事業を展開し、関係各位のご期待に添えるべく最善を尽す所存でございます。

昨年の事業としては、「大阪府危険物安全大会」をはじめとし「年次大会」、また主要な事業であります保安講習、予備講習等につきましても、若干現在の社会情勢の煽を受けたものの、各事業共滞りなく推進しているところであります。これひとえに大阪府をはじめ各消防本部、そして各関係機関の深いご理解とご協力の賜と心より感謝申し上げます。

私共協会も創立50年を間近に迫り、役職員が一丸となって、来るべき21世紀に向けて、また充実した輝かしい50年を目指し、心新たに協会発展のため全力を傾注し、災害防止に邁進していく所存であります。

どうか、ご当局の関係各位には倍日のご指導を賜り、会員の皆様にもより一層のご支援をお願い申し上げます。

最後に、皆様のご健勝とご多幸、併せて更なるご活躍、ご繁栄をご祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。



年頭のごあいさつ

大阪府知事
横山 ノック

新年明けましておめでとうございます。

早いもので、私も知事として二度目のお正月を迎えました。府民の皆様のおかげにより知事に就任したのは昨日のことのような気がしますが、この二年間、本当にいろいろなことがありました。

特に、昨年は、O-157など、府民の生命や生活に不安を与える事態が起り、皆様にはいろいろとご心配をおかけしました。今後とも、このような重大で緊急な対応が迫られる事態に対しては、迅速かつ適切に対処してまいりたいと思います。

また、ここ数年、大阪府財政を取り巻く環境は非常に厳しいものがあります。このため昨年、行政改革推進計画素案・財政健全化方策(案)・重点政策、いわゆる三点セットをとりまとめたところであります。今後、この指針に基づき府政を推進していきたいと考えています。私の好きな野球で、よく“ピンチの後にチャンスあり”と言われます。厳しい現状を打開するために、職員一丸となり、“ピンチはチャンス”の前向きな姿勢で政府の改革に慎重かつ大胆に取り組んでいきたいと考えています。

とりわけ今年は、「なみはや国体」と「ふれ愛びっく大阪」が開催されます。全国から沢山の人が大阪に集まり、明るい歓声と爽やかな笑顔につつまれた国民的スポーツの祭典を想像すると、今からは、APEC 大阪会議の開催で、広く内外に大阪をアピールすることができましたが、今年はどうしたスポーツを通じて全国レベルで「元気都市・大阪」「温ったか都市・大阪」を強くアピールしたいと思います。この他にも関西国際空港の二期事業の推進など、いろいろな課題に取り組まなければなりません。

とりわけ、一昨年震災は私たちに物心両面で甚大な被害をもたらしましたが、こうした被害を二度と引き起こさない安全な大阪づくりを早急に進めたいと思います。このため、大規模な直下型地震をも想定した「大阪府地域防災計画」を三月に策定するとともに、常設の災害対策本部を備えた防災情報センターや広域防災拠点を新設するなど、すべての府民の皆様が安全で安心して暮らせる大阪の実現に努めたいと考えています。

また、信用組合問題につきましては、地域の信用秩序の維持と中小・零細事業者の方々の資金供給機能の確保のため、受け皿金融機関の設定に向け、国との協議に努めてま

いりたいと思います。

今年、任期の後半に向けて、皆様にお約束したことを実現するためにスパートをかける年でもあります。今後、府政をより一層適切に運営するために、短期的あるいは中長期的な視点を勘案し、限られた資金や人的資源を最大限に活用していきたいと考えています。

そして、その際に、府民の皆様との相互理解をこれまで以上に大切にしていきたいと思っています。

とりわけ今年は、憲法と地方自治体が施行されて五十年の節目の年にあたります。あらためて自治の本旨の持つ意味の大きさを考えたいと思いますが、同時に政府の円滑な推進のためには、何よりも府民の皆様や府議会をはじめ、各界のご理解とご協力が大切であります。今後とも府政運営に際し、皆様の温かいご指導、ご鞭撻をいただきますよう、心からお願いいたします。

最後になりましたが、本年が皆様にとり明るい良い年であることを祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

謹んで新年の お慶びを申し上げます

本年もよろしくご指導
いただきますよう
お願い申し上げます。

平成9年元旦

勲大阪府危険物安全協会
理事長 鴻野 眞太郎
役員、職員一同



新年のごあいさつ

大阪府下消防長会
会長 岡本 吉晃

平成 9 年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は、府下消防行政の各般にわたり、深い御理解と暖かい御支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、皆様方におかれましては、国内外の厳しい社会経済情勢にありながらも、事業の御発展を遂げられましたこととお慶び申し上げます。

さて、近年、国際化の進展や社会経済活動の多様化に伴い、危険物を取り巻く諸状況は、画一大量生産型の時代から高付加価値を求める多品種少量生産型に移行し、使用される危険物も多品種・多用途化し、その貯蔵及び取扱いはますます複雑化しております。

また、先端技術の導入等に伴う生産設備の自動化、省力化が進展する中で、生産工程や流通形態の変化により、危険物施設の潜在的危険性が増加している傾向にあります。

そのような中で、昨年の危険物災害を顧みますと、相変わらず全国各地で爆発火災や漏えい事故が発生しております。

岡山県の水島コンビナートでは、2月に重油脱硫装置のポンプ付近で火災が発生、4月には触媒調整用の中間タンクが爆発、8月には屋外タンクの地下配管から原油 20,000ℓが漏えいする事故が発生しております。

広島県安芸郡江田島町の火薬製造工場では、4月と11月に爆発火災を起こしており、4月の事故では3人の方が亡くなり、11月の事故では6人の方が負傷しています。

大阪府におきましても、7月に高石市のアルキルアルミ製造プラントで爆発火災事故が発生し、11人の方が負傷しました。

また、昨年はタンクローリーの事故も相次いで発生しております。

7月のアルキルアルミ製造プラントの爆発火災と同じ日に、東京都の首都高速で、ガソリン等を積載したタンクローリーが横転炎上しました。

8月には滋賀県大津市で、ガソリン等を積載したタンクローリーが乗用車と衝突した際、横転炎上し、3人の方が負傷、さらに大阪市西淀川区の阪神高速11号池田線加島出口では、タンクローリーが横転し、軽油12,500ℓが漏えいしました。そして、10月には泉大津市の阪神高速助松出口でタンクローリーが横転し、メタクリル酸メチル（第4類

第1石油類）34ℓが漏えいしました。

このようなことから、9月25日には、貴協会と大阪府下消防長会の共催によりまして、タンクローリーを所有する事業所に対し、「タンクローリーの事故防止研修会」を開催し、事故の再発防止に御尽力いただくようお願いしたところでございます。

危険物災害の防止のためには、施設の設備などのハード面の充実のみならず、危険物取扱者を中心とした安全管理の徹底や防災教育の推進など、ソフト面の充実も図らなければなりません。そのためには、自己管理を原則とした自主保安体制の確立・整備を図る必要があります、私ども消防といたしましても最重要課題として取り組んでいるところでございます。

こうした中で、公的規制の緩和への取り組みが強く要請されており、昨年は、「屋外タンク貯蔵所に係る不等沈下量の測定頻度の延長」、「危険物施設に係る保有空地内の緑化」、「強化プラスチック製二重殻タンクへの灯油等の貯蔵」等の規制緩和項目が設置されました。本年も引き続きいくつかの規制緩和項目について、検討が進められる予定ですが、すでに設置されている項目も含め、安全性の確保に十分配慮しつつ、適切に対応して行かなければなりません。

ところで、国際社会へのより積極的な貢献が求められる今、大阪は、関西国際空港の開港を期に、オリンピックを初めとする各種国際イベントの招致を進めており、併せて災害に強い安全なまちづくりを全世界に向け発信しているところであります。

このような流れの中で、会員皆様方におかれましても、地域社会の安全確保の重要性を御認識いただき、より一層の自主保安体制の確立・整備と事故防止に努められ、安全で快適な町づくりのために御尽力いただきますようお願いいたします。

皆様方の事業のますますの御発展と、会員各位の御健勝、御多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。



新春を迎えて

財団法人危険物安全協会
理事長 福島 深

平成9年の輝かしい新春を迎え、謹んで年頭のお慶びを申し上げます。

財団法人大阪府危険物安全協会会員の皆様方におかれましては、平素から危険物安全確保の最前線において、その使命を深く認識され、危険物を取り扱う人々の指導・育成と危険物に係わる安全管理にご尽力をいただいているところであり、心から敬意と感謝を表する次第であります。

さて、昨年を振り返ってみますと、危険物関係の大きな事故としては、ご当地大阪府で7月に起きたアルキルアルミニウム製造プラントの爆発・炎上事故や、同月に東京都で、8月に滋賀県で起きたタンクローリーの横転・炎上事故等が巷間の耳目を集め、警鐘を鳴らしました。

この様な災害や事故の検証とか反省の後には、きまって再発防止策が講じられ、このことによって危険物施設等ハード面の安全性は強化されるのが常であります。とかくソフト面では遅れをとりがちで、またかというように災害等が発生しているのが現実であります。

このような視点から、広く国民を啓発するため、昨年大阪府消防局と貴協会が協同で編さん発行された「危険物規制100年の変遷」は、行政機関や業界、さらには危険物を取り扱う者にとっては、特に有意義なものであります。

この記念誌の発行をはじめとして、平素から、貴協会の危険物の安全確保に対する取り組みとそのご苦労に対し、心から敬意を表する次第であります。

当協会といたしましても、危険物取扱者の保安講習、地下タンク等の定期点検技術者講習、危険物取扱いに係る安全思想の啓発事業等を通して側面からの支援をさせていた

だきながら、危険物災害の防止に向けて努力しているところであります。

さて、危険物を取り巻く動きや話題に目を転じてみますと、危険物施設に係る保有空地の緑化や屋外タンク貯蔵所に係る不等沈下量の測定などについて新たに措置が講じられました。また、給油取扱所のセルフサービス化等に関しては、事故事例や危険要因等を踏まえて只今検討が行われているところであります。

今年も、危険物を取り巻く環境は、規制緩和や国際化などの影響を受けて流動化することが予想されるところであります。

危険物は、石油製品をはじめ我々が社会生活を営む上で欠くことのできないものとなっていることは改めて申し上げるまでもありませんが、ご存じのとおり、危険物事故の大半が人的事故に他ならないことを考えますと、「危険物災害のない安全な都市づくり」を目指すためには、危険物の製造、貯蔵そして使用するそれぞれの立場で日頃から安全かつ適正に取り扱うための努力を積み重ねて、いざという時に、行政機関、事業所と貴協会の三者の連携が有効に機能することが肝要であると感じる次第であります。

当協会といたしましても、消防庁をはじめ関係諸機関のご指導、ご協力を仰ぐとともに、会員の皆様方のご理解とご協力をいただきまして危険物の安全確保に関する事業を推進するため、役職員一同より一層努力する所在であります。

結びにあたり、貴協会と会員の皆様様の益々のご発展とご健勝を心から祈念申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

迎 春

大阪市危険物安全協会
豊能町防火協会
箕面市防火協会
池田市消防協会
豊中防火安全協会
島本町火災予防協会
高槻市火災予防協会
茨木市災害予防協会
吹田市危険物安全協会
摂津市防火安全協会

枚方市・寝屋川市防火協会連絡協議会
交野市火災予防協会
四条畷市防火協会
守口・門真防火協会
大東市火災予防協会
東大阪市防火協力会連絡協議会
八尾火災予防協会
柏・羽・藤火災予防協会
松原市火災予防協会
富田林市防火協会
河内長野市防火協会

美原町防火協会
大阪狭山市防火協会
堺市・高石市防災協会連合会
泉大津市火災予防協会
忠岡町防火協力会
岸和田市火災予防協会
貝塚市火災予防協会
泉佐野市火災予防協会
泉南市火災予防協会
阪南市火災予防協会

我が社の保安対策

「事故・災害のない 工場風土の構築をめざして」

(堺市) 宇部興産株工場

1. はじめに

当社は、明治30年に現在の山口県宇部市近郷で、炭鉱として産声を上げました。その後、各種の事業を手掛け、炭鉱は昭和42年に閉山しましたが、現在では、基礎科学品、医薬業中間体、各種プラスチック、建材、産業機械など、多岐に渡った製品を生産しています。

堺工場は、昭和42年に操業を開始し、カプロラクタム(ナイロンの原料)、アンモニア、ポリプロピレンなどを生産する総合化学工場です。

当工場では、ベンゼン、シクロヘキサノン、キシレン、水素などの危険物、可燃性ガスを、大量に、しかも高温・高圧の厳しい条件で取り扱っています。危険物は1類から6類まで全てのものを取り扱っており、石油類の貯蔵・取扱量は約4万kl、高圧ガスの処理量は約1億3千万Nm³です。又、取扱物質の大部分が可燃性であることから、火災・爆発に対しては特別の管理体制をとり、ライター類はロッカー室から持ち出しを禁止し、電動工具をはじめ着火の原因となるものは全て火気として扱い、厳しい管理をしています。当然、設備の点検・維持管理、漏洩防止等には細心の注意を払っており、保安防災に関しては、「自分の工場は自分で守る」という基本姿勢で取り組んでいます。

以下にその一端を紹介させていただきます。

2. 保安防災体制

当工場は、石油コンビナート等災害防止法での第一種特定事業所のレイアウト対象事業所です。防災資機材として大型化学消防車、大型高所放水車、泡原液車(自主保有)の3点セットをはじめ、防災指揮者、オイルフェンス等を保有し、日頃から教育訓練と自衛防災組織の整備・充実に力を入れています。

発災時には全員が防災要員となり、それぞれの役割・任務が決められた自衛防災組織が編成され、平日体制では、工場長が防災本部長(防災管理者)となって、自衛防災隊を統括・指揮します。夜間休日に発災した場合には、当直班長(管理職)が副防災管理者として自衛防災隊を指揮すると同時に、緊急呼集を発令し、必要な人員を呼び出し、人員が集まると順次平日体制に移行します。又、通報によって公設消防隊が到着した後は、公設消防隊の指揮下入り、防災活動を行います。



宇部興産株工場に立ち並ぶプラント群

3. 総合防災訓練等

次のような防災訓練を定期的実施しています。

- ① 平日体制総合防災訓練：地元浜寺消防署との合同訓練
- ② 油流出総合防災訓練：海上共同防災との合同訓練

空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計
遠隔式警報ユニット液面計
各種液体タンク用液面計
フロートスイッチ・微圧スイッチ
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(358)9467(代表)

株式会社技研

〒530 大阪市北区天満4丁目11番9号 工技研ビル ☎358-9467-8

- ③夜間休日体制総合防災訓練
- ④緊急呼集訓練：夜間又は休日に実施
- ⑤緊急措置訓練：職場単位で1回/月実施

その他、堺・泉北臨海特別防災地区協議会の総合防災訓練、浜寺消防署管内の3点セット操法訓練等への参加、防災隊員の大阪府消防学校への派遣研修（4泊5日）等を通じて、消防知識、防災技術の修得・向上に努めています。

又、協力会社を対象とした消火訓練、緊急措置訓練も定期的に実施しています。

4. 設備の安全確保……安全性評価

設備の安全確保の一環として、設備の新設、増設、改造に際しては、計画段階でプロセス設計からレイアウトの妥当性まで、総合的に安全性を評価します。評価対象設備は、生産設備だけでなく開発研究設備も含まれます。

評価チームは、各関係部門の課長で構成され、専門的・総合的な評価を行い、評価結果の審査は、工場長を委員長とする各部門長で構成する審査チームが行います。審査チームの指摘・指示事項に対する対策がなされない限り、工事には着工できません。又、工事完了後に、計画（指示）通りに工事が行われていることが確認されて初めて試運転が行えます。更に試運転後、最終評価並びに審査がなされ、プロセス変更等が必要な場合には、再評価を行います。

勿論、許認可申請等との整合も評価対象になります。

5. オペレーターの感受性向上

ソフト面の保安対策として、オペレーターの感受性向上対策事例を紹介します。

(1) プラント異常に対する感受性向上訓練

オペレーターには、物質安全性データシート（MSDS）などにより、取扱物質の危険性、取扱上の注意事項、応急措置、並びに保護具の基礎知識などの教育は勿論、運転マニュアルの整備・教育も確実に実施しています。

しかし、最近のプラントは、技術の進歩に伴い、自動化が進むとともに安定性が増し、オペレーターがプラント異

常を体験する機会が大幅に減少しています。そこで、オペレーターのプラント異常に対する感受性、適応能力を高める教育訓練手段として、プロセス危険予知訓（PYT）を実施しています。

PYTとは、異常の前兆現象、例えば温度や圧力の標準値からのズレをテーマとして、①原因の追求と防止対策、②その現象が進行した場合の処置・対策、③緊急措置、を討議・研究し、プロセスの理解を深めるとともに、異常に早く気づき、適切な処置のとれるオペレーターの育成をはかるものです。これらの討議は小集団単位で行い、その過程で、ベテランの体験談や、設計者の設計思想などを交えて、技術・ノウハウの伝承をはかります。

(2) TPM活動による設備保全レベルの向上

TPM（全員参加の生産保全活動）活動を通じて、機械保全技能士の取得者も増え、従来の「設備の故障は保全マンの仕事」という考えから「生産設備は自分たちで守る」という思想が芽生えてきました。オペレーターが設備に愛着を持って、清掃・整備し、目で見える管理ができるように工夫・改善している姿を見ると、「変身」から「変心」への意識改革が進んでいることが実感でき、直接的・間接的に、保安防災に大きく寄与するものと期待しています。

以上、保安対策への取り組みの一端を紹介させて頂きましたが、永遠のテーマである安全と保安防災の確保には、ソフト・ハード両面のバランスのとれた対策が必要で、とりわけ日頃からの教育・訓練と防災体制の整備は欠かすことができません。このことが各人の防災意識の高揚、防災に対する感受性の向上につながり、事故・災害のない工場風土構築の基礎となるものと確信し、今後とも、自主保安体制の整備・確立に努力を続ける所存であります。

最後になりましたが、日頃から危険物の安全確保から保安防災に至るまで、ご指導、ご教示を戴いております堺市高石市消防組合消防本部殿に、紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。



HATSUTA

株式会社 初田製作所
大阪東区 宇治 大塚町地方市場東区3-5 TEL. 072036-1001
 東京本社 中込 豊原町東区大塚7-1 TEL. 03-343-481

原点はロスフリーバンクションです。



ハツタは、あらゆるセーフティケースに
おこたえする企業をめざします。

頑固な夢がある。
そこにこそある。

保安講習

次は
6 月頃

平成 8 年度の保安講習会は、2 月期をもって終了となる。平成 9 年度は 9 年 6 月下旬より実施の予定であるが、受講期限のせまっている受講義務者は、手続きを早い日に。

8 年度 2 月期の日程

◇化学工場関係 (1 会場)			
回数	開催日時(予定)	会 場	所在地又は最寄駅
61	2 月 7 日(金)午後	大阪府商工会館	地下鉄・御堂筋線・本町駅
◇その他・一般 (7 会場)			
回数	開催日時(予定)	会 場	所在地又は最寄駅
57	2 月 3 日(月)午後	大阪府商工会館	地下鉄・御堂筋線・本町駅
58	2 月 4 日(火)午後	大阪府商工会館	〃
59	2 月 5 日(水)午後	*堺 市民会館	南海高野線・堺東駅
60	2 月 6 日(木)午後	大阪府商工会館	地下鉄・御堂筋線・本町駅
62	2 月 13 日(木)午後	茨木商工会議所	JR・阪急・茨木駅
63	2 月 17 日(月)午後	弘咨ビル・東大阪	近鉄・大阪線・本町駅北口ヨリスガ
64	2 月 24 日(月)午後	大阪府商工会館	地下鉄・御堂筋線・本町駅

- 注 1. 保安講習の講義時間は 3 時間です。(開講時間は、講習会場によって若干異なります。)
注 2. 会場欄に*印の会場は駐車可。(ただし有料)

第 4 回 危険物取扱者試験

2 月 9 日(日)、府大で

(財)消防試験研究センター大阪府支部では、平成 8 年度第 4 回危険物取扱者試験を 2 月 9 日(日)、大阪府立大学で次のとおり実施する予定である。

第 4 回危険物取扱者試験

試験日	2 月 9 日(日) ・乙種 4 類 (午前・午後) ・甲種、4 類以外の乙種、丙種 (午後)
試験会場	大阪府立大学 (堺市)
願書受付日	1 月 20 日(月)、21(火)
願書受付会場	大阪府職員会館

〔予備講習受付は 1 月 9 日より〕

予備講習会は、甲種、乙種 4 類について、大阪、吹田、堺など府下 6 会場で別掲 (8 頁参照) のとおり行なわれる。なお、今回は丙種についての講習会は行なわず、次の丙種の講習会は平成 9 年 5 月期に開催予定である。

普通消防ポンプ車

MX-1

消防そして救助。災害にも即応する資機材を搭載。

- MX-1 専用キャブ、ハイルーフ & ワイドウィンド
- オートマチックトランスミッション
- フルパワー P.T.O.
- デジタル表示式集中コントロールパネル
- 動力式ホースレイヤー
- 吸管、各種放水器具、資機材をコンパクトに収納



MORITA

森田ポンプ株式会社

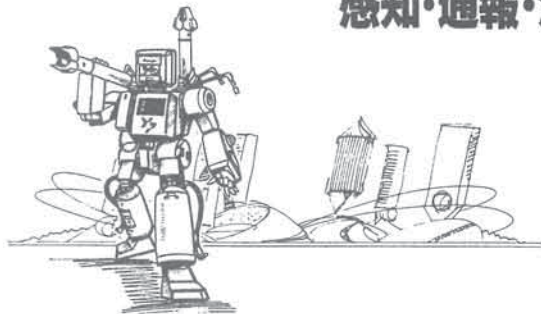
本社 / 〒544 大阪市生野区小路東 5 丁目 5 番 20 号
TEL (06) 756-0110 FAX (06) 754-3461
東京・大阪・仙台・名古屋・福岡・富山・松山

YAMATO ROTEC

セイフティのアメニティ

防災にも迅速運達するための
スロー・スタート・システムを採用。

防災設備は、さまざまな防災機器やシステムによる安全の構築です。総合防災イコー・ヤマト・ロテックは、感じる・知る・知らせる・消火を安全確保のキーとして、目的に合った防災機器の研究・開発を不断に完成させています。



かんじる しらせる けす
感知・通報・消火

・YAMATO・ROTEC・

ヤマトプロテック株式会社

本社 〒537 大阪市東成区東江北 2-1-10 TEL. (06) 976-0701 代 東京本社 〒108 東京都港区白金台 5-17-2 TEL. (03) 3446-7151 代

危険物取扱者予備講習のご案内

平成8年度第4回危険物取扱者試験実施に際し、受験者予備知識向上のため、次のとおり受験予備講習会を開催いたします。
今回は、丙種の講習は行いません。次の丙種の講習は6月期の予定です。

1. 日時・会場

種別	講習日	時間	会場
甲種	1月27日(月)、1月29日(水)、1月31日(金)	9時30分～16時	大阪府商工会館 (地下鉄本町駅ヨリスグ)
乙種 4類	1期 1月27日(月)、1月30日(木)	9時30分～16時	大阪府商工会館
	2期 1月28日(火)、1月29日(水)	9時30分～16時	大阪府商工会館
	3期 1月21日(火)、1月22日(水)	10時～16時30分	堺市民会館 (南海高野線堺東駅ヨリ8分)
	4期 1月23日(木)、1月24日(金)	10時～16時30分	吹田メイシアター (阪急千里線吹田駅ヨリ約5分)
日曜コース	1月19日(日)、1月26日(日)、2月2日(日)	10時～16時30分	大阪科学技術センター (地下鉄四ツ橋線本町駅ヨリ5分)

(注)甲種と乙種日曜コースは3日間で、乙種は2日間で1コースです。

2. 受付場所と受付日時

- ①四ツ橋ビル以外は、本会より各所に係員が出張して受付しますので、時間内をお願いします。
②各受付場所とも、各講習会場の受付数を割り当ててしていますので、満席の節は受付ができませんからご了承下さい。
③申込手続きは代理でも結構です。

受付場所		日時
東大阪市西消防署内 (近鉄・小阪駅より北へ6分)	東大阪市西防火協会	1月9日(木) 午前10時～11時30分
守口消防署 (地下鉄・守口駅前)	守口門真防火協会	1月9日(木) 午後1時30分～4時
豊中市消防本部内 (阪急宝塚線・豊中駅より南へ5分)	豊中防火安全協会	1月10日(金) 午前10時～11時30分
茨木市消防本部内 (JR・阪急茨木駅より12分)	茨木市災害予防協会	1月10日(金) 午後1時30分～4時
岸和田市消防本部内	岸和田市火災予防協会	1月13日(月) 午前10時～11時30分
堺市高石市消防本部内(南海・湊駅北へ6分・大浜南町)	堺市高石市防災協会連合会	1月13日(月) 午後1時30分～4時
吹田市消防本部内	吹田市危険物安全協会	1月14日(火) 午後1時30分～4時
四ツ橋ビル8階 (地下鉄・四ツ橋駅北出口2号)	(財)大阪府危険物安全協会	1月16日(木)
		1月17日(金) 午前10時～午後4時

(注)12:00～12:45までは昼食休みとさせていただきます。

3. 日曜コースの申込方法

日曜コース(定員70名)は電話(06-531-9717)で予約受付、定員に達し次第締切。

4. 会費

(会費には、各テキスト代を含みます。)テキスト不要の場合は甲種、乙種2,000円減額(テキストは平成8年度用改訂版を使用)

種別	会員	会員外
甲種	16,000円	18,000円
乙種4類	12,000円	14,000円
乙種(日曜コース)	16,000円	18,000円